



## 2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月12日

上場会社名 京福電気鉄道株式会社  
 コード番号 9049 URL <https://www.keifuku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 憲郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 藤木 斉

TEL 075-841-9385

定時株主総会開催予定日 2026年6月23日

配当支払開始予定日

2026年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	14,881	2.9	2,420	5.1	2,428	4.4	1,833	5.6
2025年3月期	14,459	3.0	2,302	20.3	2,325	19.5	1,736	16.9

(注) 包括利益 2026年3月期 2,108百万円 (9.8%) 2025年3月期 1,921百万円 (18.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	922.47		13.7	9.4	16.3
2025年3月期	873.81		15.0	9.6	15.9

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	26,619	15,720	53.8	7,211.57
2025年3月期	25,253	13,656	49.2	6,254.23

(参考) 自己資本 2026年3月期 14,330百万円 2025年3月期 12,428百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,884	1,652	1,010	2,376
2025年3月期	3,626	2,946	463	2,154

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		0.00		20.00	20.00	39	2.3	0.3
2026年3月期		0.00		20.00	20.00	39	2.2	0.3
2027年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00		2.2	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,950	0.5	2,040	15.7	2,020	16.8	1,840	0.4	925.95

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	2,000,000 株	2025年3月期	2,000,000 株
期末自己株式数	2026年3月期	12,842 株	2025年3月期	12,765 株
期中平均株式数	2026年3月期	1,987,203 株	2025年3月期	1,987,277 株

(参考)個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	3,711	7.6	886	16.9	887	15.4	836	3.3
2025年3月期	3,448	2.1	758	13.8	769	14.8	809	8.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	420.93	
2025年3月期	407.42	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	16,516	7,196	43.6	3,621.29
2025年3月期	16,211	6,334	39.1	3,187.85

(参考) 自己資本 2026年3月期 7,196百万円 2025年3月期 6,334百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は3ページ「今後の見通し」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(連結損益計算書) .....	6
(連結包括利益計算書) .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14
役員の異動 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、個人消費等の内需の拡大やインバウンドの増加により緩やかな回復傾向が見られた一方、物価上昇や地政学リスクの影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは、各事業において積極的な営業活動とサービス向上に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の当社グループの営業収益は14,881百万円（前期比421百万円、2.9%増）となり、営業利益は2,420百万円（前期比118百万円、5.1%増）となりました。これに営業外収益および営業外費用を加減した経常利益は2,428百万円（前期比103百万円、4.4%増）となり、特別利益および特別損失ならびに法人税等を加減し、非支配株主に帰属する当期純利益を控除した親会社株主に帰属する当期純利益は1,833百万円（前期比96百万円、5.6%増）となりました。

次に、事業別の状況をご報告いたします。

#### ①運輸業

運輸業におきましては、鉄軌道事業では嵐山線で引き続き観光利用が堅調で増収となりました。嵐山線では、2024年度から導入を開始した新型車両モボ1形KYOTRAMを今年度さらに2両導入しました。また本年3月10日の嵐電北野線全線開通100周年に合わせた記念イベントの開催や、台湾の高雄捷運股份有限公司（たかおしょううん。通称「高雄メトロ」）および江ノ島電鉄(株)との三社連携による共同PRなどを通じ、嵐山線のブランドイメージの向上と広域な情報発信を行い、利用促進を図りました。鋼索線・架空索道では、安全性の向上と快適なサービス提供を図るため、昨年4月1日に運賃改定を実施しました。叡山ケーブルでは索条交換など設備更新工事を行うとともに、叡山ケーブル開業100周年を記念し、叡山ケーブルおよび叡山ロープウェイの車両内装をリニューアルして、快適性と魅力向上を図りました。

バス運送事業・タクシー事業では、京都バス(株)は上期、インバウンドを中心とする観光需要が堅調に推移したものの、運転士不足により昨年3月のダイヤ改定で減便を実施したほか、下期以降は中国からの観光客減少の影響も受け、減収となりました。京福バス(株)・ケイカン交通(株)・福井交通(株)の福井地区バス・タクシー事業では、高速バス名古屋線や、京都・大阪線の大阪・関西万博会場への延伸運行が好調に推移しましたが、貸切バス部門を中心に、運転士不足による受注抑制の影響が続きました。一方で、京福バス(株)ではスマートフォンで定期券の購入・利用が可能なサービス「iCONPASS」（アイコンパス）を導入し、ケイカン交通(株)ではオンデマンド交通における自動運転技術の実証事業「イータクプラス」へ参画するなど、利便性向上と事業の将来を見据えた取り組みを推進しました。

以上の結果、運輸業の営業収益は7,912百万円（前期比58百万円、0.7%増）となり、営業利益は480百万円（前期比59百万円、14.3%増）となりました。

#### ②不動産業

不動産業におきましては、京福電気鉄道(株)が2024年度に取得したワコーレヴィータ高槻八丁畷町（はっちょうなわてちょう）および京福茨木ビル、京福不動産(株)が昨年10月に福井市内で取得した学生向け賃貸マンション「Uni E'terna 福井乾徳（ユニエターナふくいけんたく）」など、新たな賃貸物件からの賃料収入が寄与、販売用不動産の売却もあり増収となりました。

ボートレース三国では引き続きインターネット投票が好調に推移し増収となりました。また、競艇施設内で子供向け職業体験イベント「Kids ジョブチャレンジ2025 in ボートレース三国」を開催するなど、ボートレースを身近に感じていただき、新たなファン層獲得にもつながる取り組みも実施しました。

以上の結果、不動産業の営業収益は5,925百万円（前期比332百万円、5.9%増）となり、営業利益は1,751百万円（前期比115百万円、7.0%増）となりました。

#### ③レジャー・サービス業

レジャー・サービス業におきましては、ホテル京福福井駅前では、引き続き稼働が堅調に推移し増収となりました。越前松島水族館では、ミズダコに特化した展示施設みずだこ館の話題性と集客力に加え、各メディアで積極的に情報発信を行った結果、入館人員が増加し、増収となりました。嵐山駅ビルなど京都地区の物販業は、下期を中心にインバウンド利用の伸び悩みから減収となりました。

以上の結果、レジャー・サービス業の営業収益は、1,259百万円（前期比4百万円、0.4%減）となり、営業利益は188百万円（前期比57百万円、23.3%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

総資産は、有形固定資産の取得などにより、前連結会計年度末に比べ1,366百万円増加し、26,619百万円となりました。

負債は、長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ697百万円減少し、10,899百万円となりました。

純資産は親会社株主に帰属する当期純利益による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2,063百万円増加し、15,720百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益に加え、減価償却費等の非現金支出項目による資金留保などにより2,884百万円の収入となり、前連結会計年度に比べ742百万円の収入減となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出などにより1,652百万円の支出となり、前連結会計年度に比べ1,294百万円の支出減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済などにより1,010百万円の支出となり、前連結会計年度に比べ547百万円の支出増となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は2,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円の増加となりました。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内経済は緩やかな回復傾向が期待される一方、資材・エネルギー価格の高騰や労働力不足の影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続くものと考えられます。

このような状況のもと、2027年3月期の通期連結業績予想につきましては営業収益は14,950百万円、営業利益は2,040百万円、経常利益は2,020百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,840百万円をそれぞれ見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,164	2,386
受取手形及び売掛金	1,417	1,602
販売土地及び建物	105	12
商品及び製品	9	9
貯蔵品	49	46
前払費用	44	47
短期貸付金	1,189	1,502
その他	587	423
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	5,566	6,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,492	10,625
機械装置及び運搬具(純額)	1,753	2,081
土地	4,712	5,070
リース資産(純額)	747	848
建設仮勘定	347	244
その他(純額)	608	541
有形固定資産合計	18,661	19,412
無形固定資産	238	190
投資その他の資産		
投資有価証券	470	629
繰延税金資産	100	147
その他	215	209
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	786	987
固定資産合計	19,686	20,589
資産合計	25,253	26,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23	21
短期借入金	2,879	2,943
リース債務	157	170
未払金	1,020	1,173
未払法人税等	691	531
未払消費税等	176	182
賞与引当金	212	204
その他	641	580
流動負債合計	5,803	5,808
固定負債		
長期借入金	3,397	2,534
リース債務	630	715
長期未払金	42	37
繰延税金負債	1,077	1,137
役員退職慰労引当金	11	8
退職給付に係る負債	320	311
その他	314	347
固定負債合計	5,793	5,091
負債合計	11,597	10,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	315	319
利益剰余金	10,922	12,716
自己株式	△22	△23
株主資本合計	12,215	14,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	317
その他の包括利益累計額合計	213	317
非支配株主持分	1,227	1,389
純資産合計	13,656	15,720
負債純資産合計	25,253	26,619

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業収益	14,459	14,881
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	12,100	12,417
販売費及び一般管理費	56	43
営業費合計	12,156	12,460
営業利益	2,302	2,420
営業外収益		
受取利息	5	14
受取配当金	12	15
助成金収入	34	6
違約金収入	—	17
雑収入	22	18
営業外収益合計	74	72
営業外費用		
支払利息	49	63
雑支出	2	1
営業外費用合計	52	64
経常利益	2,325	2,428
特別利益		
補助金収入	564	485
固定資産売却益	21	34
その他	—	5
特別利益合計	586	526
特別損失		
固定資産除却損	47	28
減損損失	20	1
解体撤去費用	—	42
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	68	73
税金等調整前当期純利益	2,843	2,880
法人税、住民税及び事業税	875	917
法人税等調整額	59	△38
法人税等合計	935	878
当期純利益	1,908	2,002
非支配株主に帰属する当期純利益	172	169
親会社株主に帰属する当期純利益	1,736	1,833

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	1,908	2,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	106
その他の包括利益合計	12	106
包括利益	1,921	2,108
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,748	1,937
非支配株主に係る包括利益	173	171

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	313	9,226	△22	10,517
当期変動額					
剰余金の配当			△39		△39
親会社株主に帰属する当期純利益			1,736		1,736
連結子会社株式の取得による持分の増減		1			1
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	1,696	△0	1,697
当期末残高	1,000	315	10,922	△22	12,215

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	201	201	1,060	11,779
当期変動額				
剰余金の配当				△39
親会社株主に帰属する当期純利益				1,736
連結子会社株式の取得による持分の増減				1
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11	11	167	179
当期変動額合計	11	11	167	1,876
当期末残高	213	213	1,227	13,656

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	315	10,922	△22	12,215
当期変動額					
剰余金の配当			△39		△39
親会社株主に帰属する当期純利益			1,833		1,833
連結子会社株式の取得による持分の増減		4			4
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4	1,793	△0	1,797
当期末残高	1,000	319	12,716	△23	14,012

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	213	213	1,227	13,656
当期変動額				
剰余金の配当				△39
親会社株主に帰属する当期純利益				1,833
連結子会社株式の取得による持分の増減				4
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	104	104	161	266
当期変動額合計	104	104	161	2,063
当期末残高	317	317	1,389	15,720

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,843	2,880
減価償却費	1,423	1,582
減損損失	20	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	8	△7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	△3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21	△9
受取利息及び受取配当金	△18	△30
支払利息	49	63
助成金収入	△34	△6
固定資産売却損益(△は益)	△21	△33
固定資産のための補助金	△510	△436
固定資産除却損	47	28
売上債権の増減額(△は増加)	△29	△184
棚卸資産の増減額(△は増加)	50	95
前払費用の増減額(△は増加)	△5	△2
仕入債務の増減額(△は減少)	2	△1
未払金の増減額(△は減少)	△95	62
未払費用の増減額(△は減少)	10	△14
未払消費税等の増減額(△は減少)	27	5
その他	259	△19
<b>小計</b>	<b>4,050</b>	<b>3,970</b>
利息及び配当金の受取額	18	30
利息の支払額	△50	△64
災害による損失の支払額	△58	△1
助成金の受取額	18	22
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△352	△1,072
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,626</b>	<b>2,884</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20	△505
定期預金の払戻による収入	32	504
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△357	△313
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△2,865	△1,929
有形固定資産の売却による収入	43	98
無形固定資産の取得による支出	△89	△31
固定資産のための補助金収入	353	541
その他	△42	△16
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,946</b>	<b>△1,652</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△70	100
長期借入れによる収入	1,210	250
長期借入金の返済による支出	△1,417	△1,149
配当金の支払額	△39	△39
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△136	△160
自己株式の取得による支出	△0	△0
非支配株主への配当金の支払額	△4	△4
その他	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△463	△1,010
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	216	221
現金及び現金同等物の期首残高	1,938	2,154
現金及び現金同等物の期末残高	2,154	2,376

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としているものであります。当社グループは、グループ経営を統括する当社の他、京都バス(株)、京福バス(株)、三国観光産業(株)を基幹企業として、鉄軌道事業、バス運送事業、不動産賃貸事業、ホテル業、水族館業などの事業を展開しております。

したがって、当社グループは事業区分を基礎としたサービス別セグメントから構成されており、「運輸業」、「不動産業」、「レジャー・サービス業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な事業内容は以下のとおりです。

運輸業：鉄軌道事業、バス運送事業、タクシー事業

不動産業：不動産販売事業、不動産賃貸事業等

レジャー・サービス業：物販業、ホテル業、水族館業等

## 2. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用されている会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	7,829	5,424	1,205	14,459	—	14,459
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	24	168	58	251	△251	—
計	7,853	5,593	1,263	14,710	△251	14,459
セグメント利益	420	1,636	245	2,302	0	2,302
セグメント資産	13,060	10,103	992	24,156	1,096	25,253
その他の項目						
減価償却費	973	390	60	1,424	△0	1,423
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,353	1,820	77	3,250	—	3,250

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

(1) セグメント利益の調整額0百万円、減価償却費の調整額△0百万円はセグメント間取引消去額です。

(2) セグメント資産の調整額1,096百万円のうち、3,225百万円は全社資産であり、△2,128百万円はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	7,889	5,780	1,210	14,881	—	14,881
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	23	144	48	216	△216	—
計	7,912	5,925	1,259	15,097	△216	14,881
セグメント利益	480	1,751	188	2,420	0	2,420
セグメント資産	13,586	10,337	976	24,900	1,718	26,619
その他の項目						
減価償却費	1,056	418	108	1,583	△0	1,582
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,518	692	99	2,310	—	2,310

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

(1) セグメント利益の調整額0百万円、減価償却費の調整額△0百万円はセグメント間取引消去額です。

(2) セグメント資産の調整額1,718百万円のうち、3,710百万円は全社資産であり、△1,992百万円はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
1株当たり純資産額	6,254.23円	1株当たり純資産額	7,211.57円
1株当たり当期純利益	873.81円	1株当たり当期純利益	922.47円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,736	1,833
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,736	1,833
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,987	1,987

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の異動

(2026年6月23日付)

##### 1. 新任取締役候補

###### 取締役

井上 欣也 (現・京阪ホールディングス株式会社 取締役常務執行役員)

###### 社外取締役

檜井 進 (現・江ノ島電鉄株式会社 顧問)

##### 2. 退任予定取締役

大柳 雅利 (現・社外取締役)

##### 新任取締役候補 略歴

井上 欣也 (いのうえ きんや) (1965年7月24日生)

1989年3月 京都大学工学部卒業

1989年4月 京阪電気鉄道株式会社 (現 京阪ホールディングス株式会社) 入社

2013年7月 同社安全推進部長

2015年7月 同社鉄道営業部長

2016年1月 京阪電気鉄道分割準備株式会社 (現 京阪電気鉄道株式会社) 取締役

2019年6月 京阪電気鉄道株式会社常務取締役

2023年6月 京阪ホールディングス株式会社執行役員

2025年6月 同社取締役常務執行役員 (現在)、京阪電気鉄道株式会社代表取締役社長 (現在)

(重要な兼職の状況)

京阪ホールディングス株式会社 取締役常務執行役員、京阪電気鉄道株式会社 代表取締役社長

檜井 進 (ならい すずむ) (1957年10月2日生)

1980年3月 中央大学商学部卒業

1980年4月 江ノ島鎌倉観光株式会社 (現 江ノ島電鉄株式会社) 入社

2009年6月 同社取締役、株式会社江ノ電バス横浜代表取締役社長

2015年6月 株式会社江ノ電バス藤沢代表取締役社長

2018年4月 江ノ島電鉄株式会社代表取締役社長

2024年4月 同社取締役相談役

2025年4月 同社顧問 (現在)

以上